

一般社団法人日本看護学校協議会 看護師教育課程 試案

教育の基本的考え方

1. 人間に対する深い畏敬の念を持ち、看護の対象を生活者として全人的に捉える基礎的能力を養う。
2. 看護師としての責務を自覚し、専門職としての高い倫理性に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。
3. 科学的根拠に基づき、看護を創造的・計画的に実践する基礎的能力を養う。
4. 健康の保持・増進、疾病の予防及び健康の回復に関わる看護を、健康の状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
5. 対象との相互関係を成立・発展させるために、多様な価値観を理解し人間関係を形成する基礎的能力を養う。
6. 看護の対象にとって良質で安全なケアを提供するために、継続的にケアの質と安全を管理する基礎的能力を養う。
7. 地域包括ケアシステムにおける自らの役割及び他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働する基礎的能力を養う。
8. 専門職として、看護の質の向上を目指して、最新の知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。

教育内容		単位数	具体的な教育内容(例)	備考	
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活・社会の理解	13	人間と家族の理解 暮らしと文化 社会のしくみ ICTリテラシー コミュニケーション力 倫理観 自己教育力 キャリア開発 等	・コミュニケーション能力の強化 ・プレゼンテーション能力の強化 ・倫理的態度の育成強化 ・情報化に対応する能力強化 ・国際化に対応する能力の育成	
	小計	13			
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	15	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 ・基本的な病因と成り立ち ・食生活と食事療法 ・薬物の作用と副作用、薬物の管理 ・疾病の治療 等	・病態生理学、臨床推論を強化 ・看護に活用できる知識とすること (生活者としての理解)	
	健康支援と社会保障制度	6	社会・生活基盤と健康 ・健康の概念 社会保障制度 ・社会生活基盤と健康・家族機能やライフスタイルの変化 ・社会保障制度の基本 ・社会福祉に関する法や施策・医療と経済現象 公衆衛生 ・健康と公衆衛生 ・公衆衛生における生活環境と問題への対策 ・保健活動の基盤となる法や施策 ・生活者の健康増進 ・人々の健康を守る従事者や機関に関する法や施策 保健医療福祉チームと他職種の理解 等	・看護とのつながりを考えさせるように留意すること ・他職種の理解：各職種の役割・機能と協働を考える内容とすること ・チーム医療、地域包括ケアシステムについて考えるための基盤となる知識とすること。	
小計		21			
専門分野Ⅰ	基礎看護学	11	看護の基本となる概念 看護の展開 看護の歴史 看護の役割・機能 看護師の責務と看護倫理 看護に共通する基本技術 基本的日常生活援助技術 診療に伴う看護技術 チームアプローチ ケアリング	・根拠に基づいた看護（EBN）の強化 ・フィジカルアセスメントやヘルスアセスメントの強化 ・クリティカルシンキングの強化 ・シミュレーション教育の積極的導入等による演習強化	
	専門分野Ⅰ実習(基礎看護学実習)	3	地域で生活している人々と看護活動の場を知る 看護過程の展開と対象者に応じた援助の実施	・コミュニケーション能力の強化 ・フィジカルアセスメントの強化	
	小計	14			
専門分野Ⅱ	対象特性別看護	成人看護学	4	各発達段階の理解と発達段階に応じた看護 各成長発達段階の特徴とそれを取り巻く社会環境 各成長発達段階における健康障害の特徴	・発達段階と対象特性、対象特性に応じた健康課題について家族を含めて、看護する内容とする
		老年看護学	3	健康保持・増進や疾病予防を必要とする対象の特徴と支援 治療を必要とする対象と家族の特徴と支援 看護実践に必要な理論・モデル	
		小児看護学	3	対象と家族の支援	
		母性看護学	3	リプロダクティブに関する看護 妊娠・分娩・産褥期・新生児期の看護 女性のライフサイクル上の健康課題 周産期医療システムと母子保健施策 家族機能と家族の発達	
	精神看護学	3	精神保健の基本 精神保健医療福祉における他職種連携 主な精神疾患の特徴と看護 安全な治療環境の提供 精神看護の対象と家族の理解と支援のための概念		
	対象特性を超え、拡がる場での看護	健康状態に応じた看護	4	健康の保持増進 健康の回復 クリティカルケア 慢性的な経過と看護 終末期と看護 治療と看護 症状と看護	・解剖生理・病理・治療をつなげて看護を考えるよう教授する。 ・健康状態に応じた看護を考えられるように、事例演習を含む内容とする。
		拡がる場での看護	5	地域で生活する人々と看護 地域包括ケアシステム 地域看護の目的と対象 あらゆる看護の場と活動の特徴 地域看護の概念 地域で生活する人々を支える看護（訪問看護含む） 地域における安全と危機管理の概念	・地域での生活をみる視点を育てる ・地域で療養生活を送る人々を支える看護、地域で健康生活を支える看護の両者を含む。 ・地域包括ケアシステムについての理解を深めること ・多職種連携・協働で地域での生活を支えることを学ぶ
	看護の統合と実践	看護の統合と実践	5	・災害と看護 ・国際化と看護 ・看護におけるマネジメント ・看護技術の総合評価 ・看護の実践と科学的探究 ・ケアの質と安全管理 ・多職種連携 ・継続看護 等	・看護実践能力の育成に向けてシミュレーション教育の積極的導入を図ること ・チーム医療における役割を考える内容を含むこと ・専門職連携教育(IPe)を導入すること
	小計		30		
	専門分野Ⅱ実習	対象特性別	成人看護学	2	成人期にある人の理解と生活を支える看護の実践
老年看護学			2	老年期にある人の理解と生活を支える看護の実践	
小児看護学			2	健康な小児の理解と地域の子育て支援の理解 疾病・障害を持つ小児の理解と看護の実践	
母性看護学			2	妊娠期の保健指導の理解 分娩・産褥期にある対象者および新生児の理解と看護の実践	
精神看護学			2	精神の疾病・障害により日常生活に支障をきたした人の理解と看護の実践	
対象特性を超え、拡がる場での看護		健康状態に応じた看護	4	急性期・回復期にある対象者の理解と看護の実践 慢性期にある対象者の理解と看護の実践 終末期にある対象者の理解と看護の実践	・対象特性を踏まえ、健康状態に応じた看護を学ぶ内容とすること ・一人の療養者の継続看護を学ぶ。 ・多職種連携の実践を学ぶ内容を含むこと
		拡がる場での看護	3	地域の保健・医療・福祉活動と地域包括ケアシステムの理解 介護・認知症等の予防活動・継続看護 地域で療養する対象者及び家族の理解と看護の実践	・訪問看護ステーション以外にも地域看護・在宅看護の実習場所は広くとらえ、地域で生活する人々の看護を学ぶ内容にすること。 ・継続看護を学ぶ内容を含むこと
看護の統合と実践実習	3	複数の患者を受け持ちチームで看護を実践する	・複数患者を学生チームで受け持つなど ・看護管理、夜間実習を含む		
小計		20			
総単位数		98			